

みずほマーケット・トピック(2020年7月10日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

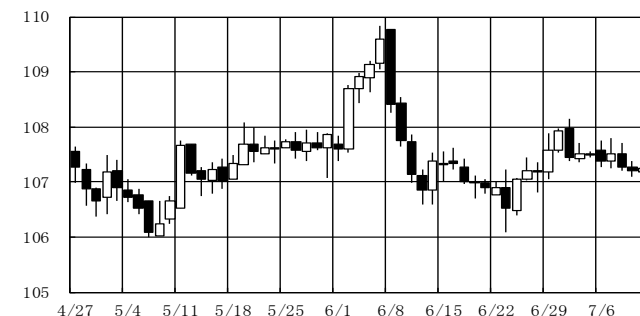
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週後半にかけて下落する展開。週初6日、107円台半ばでオープンしたドル/円は、日経平均株価が上げ幅を広げながら底堅く推移。その後、米国での新型コロナウイルス感染者数の増加が意識されてじり安の展開となるが、米6月ISM非製造業景気指数が予想を上回る結果となると下落は一服し、107円台前半での推移が続いた。7日は、軟調に推移する日経平均株価を横目に上値の重い推移。後半にかけては、欧州株式市場が軟調に推移する動きにドル買いが強まり、一時週高値の107.79円まで上昇した。その後は107円台半ばでの狭い値動きとなった。8日は、日経平均株価の下落が続いたことが嫌気され、ドル/円はじりじりと値を下げる展開。その後は米国でテクノロジー株中心に株式市場が上昇し、金も初の1800ドル台へ乗せる中、ドル売りが更に強まり、107円台前半まで下落した。9日は、新型コロナウイルスの感染拡大リスクが重しとなり上値の重い展開。後半にかけては、米株式市場が軟調に推移した中で、一時週安値の107.10円まで下落した。本日は、107円台前半での推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場は、週後半に1か月ぶりの高値をつける展開。週初6日、1.13台前半でオープンしたユーロ/ドルは堅調な推移した中で、1.13台半ばまで上昇した局面があったものの、米6月ISM非製造業景気指数の予想を上回る結果が好感されてドルが買い戻されると、1.13付近まで下落した。7日は、独5月鉱工業生産の結果が予想を下回り、新型コロナウイルスからの景気回復ペースが緩やかとなる見方が強まり欧州株が軟調に推移すると、一時1.12台半ばまで反落した。その後も株安が続き、上値の重い展開が続いた。8日は、米株が底堅く推移したことでリスク志向のドル売りが強まり、1.13台を回復した。その後は新規材料に欠ける中、1.13台前半で小幅な値動きとなった。9日は、一時1か月ぶりの高値となる1.1371まで上昇したが、後半にかけて、欧米の株式市場が軟調に推移したことを受け、ユーロ/円に連れ安となって1.13を割り込んだ。本日は1.12台後半での取引が続いている。

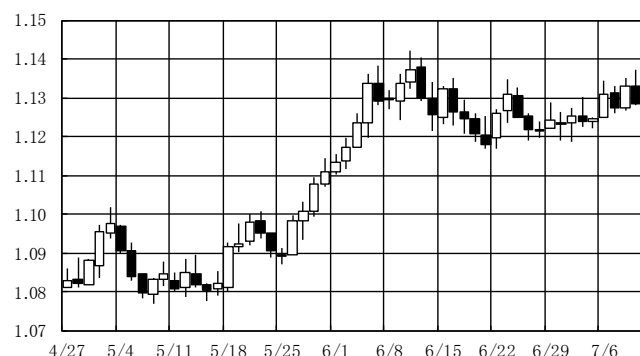
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

		前週末	今 週				
		7/3(Fri)	7/6(Mon)	7/7(Tue)	7/8(Wed)	7/9(Thu)	
ドル/円	東京9:00	107.49	107.60	107.36	107.58	107.28	
	High	107.57	107.77	107.79	107.71	107.39	
	Low	107.44	107.26	107.25	107.20	107.10	
	NY 17:00	107.52	107.39	107.51	107.26	107.21	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1238	1.1250	1.1312	1.1274	1.1337	
	High	1.1253	1.1345	1.1331	1.1352	1.1371	
	Low	1.1219	1.1245	1.1259	1.1263	1.1281	
	NY 17:00	1.1246	1.1310	1.1274	1.1330	1.1285	
ユーロ/円	東京9:00	120.76	121.00	121.44	121.32	121.66	
	High	120.95	121.96	121.70	121.86	121.95	
	Low	120.63	120.97	121.19	121.15	120.90	
	NY 17:00	120.83	121.46	121.20	121.50	120.93	
日経平均株価		22,306.48	22,714.44	22,614.69	22,438.65	22,529.29	
TOPIX		1,552.33	1,577.15	1,571.71	1,557.23	1,557.24	
NYダウ工業株30種平均		-	26,287.03	25,890.18	26,067.28	25,706.09	
NASDAQ		-	10,433.65	10,343.89	10,492.50	10,547.75	
日本10年債		0.02%	0.04%	0.03%	0.02%	0.02%	
米国10年債		-	0.68%	0.64%	0.67%	0.61%	
原油価格(WTI)		-	40.63	40.62	40.90	39.62	
金(NY)		-	1,793.50	1,809.90	1,820.60	1,803.80	



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、15日(水)にベージュブック(地区連銀経済報告)が公表される。前回5月発表分の総括は「大半の地域で鋭く急激に悪化している」とされた。雇用や賃金動向については、「急激な損失を伴い減少した」と厳しい内容が報告された。ソーシャルディスタンスや事業閉鎖の影響で、雇用自体の削減を強いられている状況に加え、従業員の健康問題や手厚な失業保険の存在もあって職場復帰の動きが弱い点も指摘された。そのほか物価状況に関しては、業種別で異なった動きを見せており、「大半の地区で堅調ないし、緩やかな下落」と総括された。今回の報告は5月中旬以降の経済活動が対象となっており、5月、6月のISM景気指数や雇用統計の結果を踏まえれば、景気悪化に歯止めがかかっている業種・地域が出てくる可能性もある。その一方で、6月に入って新型コロナウイルスの感染第二波の到来が懸念される中で、感染拡大が進む地域では引き続き景気の冷え込みが予想される。
- 欧州では、16日(木)にECB政策理事会の開催を控える。前回会合では、パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)の強化を決定した。規模は総額7500億ユーロに6000億ユーロを上乗せした1.35兆ユーロへ、2020年末までとしていた政策の期限も21年6月末までに半年延長された。今回は定例の購入プログラムである拡大資産購入プログラム(APP)での新型コロナウイルス対策の増枠分が天井に接近している中、年後半に向けて増枠の決定を下すかどうかが主な争点となりそうだ。
- 本邦では、15日(水)に日銀金融政策決定会合を控える。6月会合では、「景気は極めて厳しい状態である」との見方を示し、政策金利の据え置きや大規模な金融緩和政策の現状維持が決定された物価動向に関しては、「当面、感染症や原油価格下落などの影響を受けてマイナスで推移するもの」と総括された。その後公表された政策委員の意見の中では、現状で将来的に物価安定目標とする2%に近い水準に到達すると予想することは難しいとした上で、先を見据えた追加緩和の必要性を述べたものも存在した。今回も日銀が緩和的な姿勢を継続する見通しが強い。金融緩和の内容については、長短金利の調節、日銀のETF購入枠の拡大、市場安定のための円・外貨供給といった現状の政策の延長となることが見込まれている。

	本 邦	海 外
7月10日(金)	・6月国内企業物価指数	・米6月PPI
13日(月)	・5月第3次産業活動指数	・米6月財政収支
14日(火)	・5月鉱工業生産(確報) ・5月設備稼働率	・米6月CPI ・英5月GDP
15日(水)	・日銀金融政策決定会合	・米ベージュブック公表
16日(木)	—————	・ECB政策理事会
17日(金)	・6月全国百貨店売上高	・臨時EU首脳会議 ・ユーロ圏6月CPI(確報)

【当面の主要行事日程(2020年7月～)】

日銀金融政策決定会合(7月15日、9月16～17日、10月28～29日)

ECB政策理事会(7月16日、9月10日、10月29日)

米FOMC(7月28～29日、9月15～16日、11月4～5日)

G20財務相・中央銀行総裁会合(7月18～19日、10月15～16日)

市場営業部・金融市場部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年7月9日	カレンシーボードに迫る脅威～米国の「諸刃の剣」～
2020年7月8日	増枠分の天井に近づいたECBの拡大資産購入プログラム(APP)
2020年7月7日	対外直接投資はこれからも増えるのか？
2020年7月3日	週末版(明らかに「物価差なき世界」～金利と共に失われる為替の変動要因～)
2020年7月2日	金価格が上がっている理由～リスクオフという方便～
2020年7月1日	円相場の需給環境～ストック円高、フロー円安～
2020年6月26日	週末版(IMF、GFSR改訂を受けて～「実力以上の株価」という必要悪～)
2020年6月25日	ユーロ相場はなぜ堅調なのか？
2020年6月23日	メルケル首相に託されたEU復興基金の先行き
2020年6月22日	ECB、「真のバズーカ」と「影の政策金利」
2020年6月19日	週末版
2020年6月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年5月分)
	香港ドル相場の現状と展望～ベッグ崩壊の現実的な可能性は～
2020年6月17日	二番底はメインシナリオの1つとして見るべきか
2020年6月15日	29年連続「世界最大の対外純資産国」の読み解き方
2020年6月12日	週末版(EU首脳会議プレビュー～メルケル首相への花道論も～)
2020年6月11日	FOMCを終えて～当分失われそうなドル/円のボラティリティ～
2020年6月9日	米国はいずれ通貨政策に訴えかけるのか？～特権の行使～
2020年6月8日	金利上昇を容認したFRBと視野に入るYCC
2020年6月5日	週末版(ECB政策理事会を終えて～2022年末までバランスシート残高は高止まり～)
2020年6月4日	明らかにされたパンデミック緊急購入プログラムの全貌
2020年6月3日	米個人消費・所得、急変動に透けて見える日本化の胎動
2020年5月29日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～PEPPに孕む隠蔽リスク～)
2020年5月27日	最近の元安・ドル高相場の読み方
2020年5月26日	IMF「国際金融安定報告」続報から読み取れるもの
2020年5月22日	週末版(EU復興基金設立の現状と展望～立ちほだかる「新ハンザ同盟」の壁～)
2020年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年4月分)
	コロナショックは反グローバルの「とどめ」なのか？
2020年5月19日	アフターコロナの世界で定着しそうな「肉肉な株高」
2020年5月15日	週末版(マイナス金利を正当化したECB論文～「次の一手」としての深掘りを予見させるものか？～)
2020年5月14日	不安を吐露したパウエル議長とマイナス金利の足音
2020年5月12日	独憲法裁判所の判断とECB買い入れ近況について
2020年5月8日	アフターコロナはインフレか？デフレか？
2020年5月7日	アフターコロナで注目したい世界の「日本化」兆候
2020年5月1日	週末版(ECB政策理事会を終えて～形骸化する政策金利と「次の一手」～)
2020年4月28日	日銀金融政策決定会合を受けて～同調圧力への対応～
2020年4月24日	週末版(原油急落に感じる株・為替市場との差異～原油に「ごまかし」は効かず～)
2020年4月22日	拡張財政と「ドルの信認」～目先の下落は濃厚か？～
2020年4月21日	資本逃避スピードはリーマンショックの倍に～IMF報告～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年3月分)
2020年4月17日	週末版(「The Great Lockdown」で最も傷が深いのは欧州か？～IMF世界経済見通し～)
2020年4月15日	ECBの「次の一手」はYCCも視野に～工夫も必要～
2020年4月14日	「超リスクオフ」から「リスクオフ」へ～改めて米金利を意識へ～
2020年4月10日	週末版(明らかになったECB資産購入の実情～このペースではあと半年が限度～)
2020年4月9日	英国のEU離脱はどこへ～移行期間は延長不可避の情勢～
2020年4月7日	「金利差なき世界」のあるべき視座～big picture～
2020年4月6日	「悲観の極み」の中で「光」をどう見出すべきか
2020年4月3日	週末版(「令和元年度 企業行動に関するアンケート調査」を受けて～かすかに暗雲漂う円相場～)
2020年4月2日	今でも「危機対応のフロントランナー」の日銀
2020年4月1日	過去最大のスタートダッシュを切ったECB
2020年3月30日	ドル高の裏にある新興国通貨安～半分はメキシコ由来～
2020年3月27日	週末版(EUが直面する「第三の危機」～債務、難民そして疫病へ～)
2020年3月26日	EUに楔を打ち込む中国～マスク外交と侮れず～
2020年3月25日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年2月分)
	リスクシナリオも練り直し～日米金利差逆転というリスク～
2020年3月24日	「ドル化する世界」と新興国通貨の選別
2020年3月23日	「08年型のドル高」と円の「2大ステータス」
2020年3月19日	週末版(踏み込んだECB、パンデミック緊急資産購入プログラム～「抜かずの宝刀」も抜かれるのか？～)
2020年3月18日	FOMCレビュー～「不要不急で自減」は予定通り？～
2020年3月17日	ECB政策理事会レビュー～胆力と失望の狭間～
2020年3月13日	週末版
2020年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～実質的なデビュー戦～
2020年3月10日	日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は？～
2020年3月9日	ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～
2020年3月6日	週末版
2020年3月5日	欧州難民危機再び？～「見えない脅威」と「見える脅威」～
2020年3月4日	不要不急の下り下げで自減したFRB
2020年3月3日	各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月2日	最強通貨に返り咲いた円～年初来変化率がプラスに～
2020年2月28日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高～)
2020年2月27日	健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観
2020年2月21日	週末版(忌避されるユーロ～通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策～)
2020年2月20日	円急落は「日本売り」の結果なのか？
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年1月分)
2020年2月19日	危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇
2020年2月18日	ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと・・・～
2020年2月14日	週末版
2020年2月13日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月12日	流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～
2020年2月10日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月7日	週末版(上がりそうにない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)
2020年2月6日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか
2020年2月4日	ボンド相場の現状と展望～遠すぎる物価「2%」～
2020年2月3日	ブレイグジットQ&A～アイルランド問題から漁業権問題へ～
2020年1月31日	週末版
2020年1月30日	FOMCを終えて～新型肺炎リスクと減速軌道の米国～
2020年1月29日	メインシナリオに関するリスク点検
2020年1月28日	デジタル通貨を巡る4大勢力～群雄割拠を読み解く～
2020年1月27日	疫病リスクと金融政策への影響などについて
2020年1月24日	週末版(ECB政策理事会を終えて～やや先走り感のあるラガルド総裁～)
2020年1月22日	日銀金融政策決定会合～「政熱経冷」という運～